

令和4年1月25日

上越市長 中川 幹太 様

三郷地区地域協議会

会長 竹内 浩行

三郷地区公民館整備に関する意見書

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、三郷地区公民館の整備について自主的に審議した結果、下記のとおり意見がまとまりましたので提出いたします。

記

昭和55年に建設された上越市立三郷地区公民館（天野原新田）は、市が平成23年度に行った建物の耐震診断で耐震強度不足と判定されました。その後、市は令和2年度に雨漏り箇所の改修を行いました。利用者の生命の危険に及ぶかもしれない耐震強度不足への対応が行われておりません。さらにトイレが男女共用であることや和室・集会室の照明設備が暗いことなど、施設全体の老朽化により利用者が安全かつ快適に安心して利用しにくい状況であります。

また、この件は10数年前から地域の懸案事項として認識しており、令和元年から毎年、三郷地区町内会長協議会と三郷まちづくり振興会の連名で市に要望書も提出されていますが、市の回答は「公民館の整備計画を検討している段階」として、具体的な改善策が地域にも示されておりません。

よって、当地域協議会として別紙のとおり調査・審議を重ねた結果、区内唯一の公の集会施設である三郷地区公民館を子どもから高齢者まで気軽に集まることができる地域コミュニティの場として新築されることを提案します。

なお、新築に長期的な時間を要する場合は、現代の公の施設では考えられない男女共用のトイレの解消など、施設設備の早期改善を要望します。

【施設の利用状況】

上越市立三郷地区公民館は、かつての三郷村役場がおかれていた場所に、昭和55年木造2階で建設され、隣接している三郷小学校や三郷保育園とともに、地域の中心地に立地する大切な施設として、長年地域住民から親しまれています。

三郷区の人口が約1,300人である中、コロナ禍以前の令和元年度の利用者数は、年間4,766人であり、軽運動、料理教室、趣味活動などに取り組む社会教育施設としての機能だけでなく、地域住民による会合、高齢者支援事業、地域の健康・保健衛生に関する講座など、幅広い用途で利用できる区内唯一の公の集会施設となっています。

【地域協議会における審議経過】

当地域協議会では、この施設が建設から41年を経過し、老朽化や耐震強度不足などの問題で利用者が安全かつ快適に安心して利用できない現状を捉え、令和3年2月12日から「三郷地区公民館の整備」を自主的審議事項として審議を開始し、以下のとおり現状把握に努め、審議を進めてきました。

令和3年7月25日：三郷地区公民館と同規模の高士地区公民館及び合併前上越市で直近に建設された八千浦地区公民館を視察し、各公民館建設に至った経過や利用状況などを調査しました。

令和3年9月14日：市担当課から「三郷地区公民館の改修計画について」説明を聞き、今後の市の考えを把握しました。

令和3年9月17日

～9月29日：三郷地区公民館を利用している15団体を対象にしたアンケート調査を実施し、施設の現状、不具合、整備の在り方等について、利用者の声を調査しました。

(アンケートの結果概要は次頁)

令和3年10月14日：委員による施設の不具合箇所の確認を行いました。

令和3年12月13日：三郷地区町内会長協議会（町内会長11人）との意見交換会を開催し、これまでの取組内容の報告と三郷地区公民館整備に関する意見交換を行いました。

【利用団体を対象にしたアンケート結果概要】

1 調査目的

三郷地区公民館利用者の実態や実感、素直な声を把握し、三郷区地域協議会における自主的審議事項「三郷地区公民館の整備について」、今後の審議に生かすもの。

2 調査方法

【対象】 三郷地区公民館を利用している団体（15団体）

【方法】 地域協議会委員が団体へ依頼

【期間】 令和3年9月17日（金）から令和3年9月29日（水）

3 回答結果

回答団体15団体、回答率100%

4 主な意見

- ・三郷地区公民館は公民館主事が常駐しているため気軽に集まりやすく、親しみやすい場所であるとともに研修や住民の集会には欠かせない必要な場所である
- ・男女共用のトイレは人権問題である。また、和室の照明が暗く会議に支障を来していること、公民館施設の老朽化に伴い地域活動の停滞が危惧される。
- ・子どもから高齢者まで気軽に集まることができる地域コミュニティーの場として、活動できる施設や1階に広い部屋（集会室）がある施設を望む。

【地域協議会の意見書として提出することについて（まとめ）】

- ・施設利用者へのアンケート結果等から、最も不便に感じている男女共用のトイレは、公共施設の設備として問題であることから早急に解消する必要がある。
- ・公共施設の建物が耐震基準を満たしていないことも問題であり、トイレの問題と合わせ早急に建物を改修する必要がある。
- ・この施設は築41年を経過して施設各所の経年劣化が進んでおり、設備等も古いままであるとともに、高齢者や障害者に対する配慮をした設計となっていない。
- ・これら問題を解消するためには、部分的な改築では難しいと考え、新築が妥当と判断する。
- ・この施設の老朽化等に伴う不具合は、10年前から地域の懸案事項として認識されており、三郷地区町内会長協議会などが市に改善要望をしてきたが、未だ進展の様子もなく、具体的な改善策が示されていない。

- ・近年建設された高士地区公民館、八千浦地区公民館を視察した際、幅広い年齢層の住民が夜間帯に至るまで、様々な用途で施設を利活用している様子を見ることができた。その結果、施設設備の充実により、地域活動の活性化が図られるのではないかと感じた。
- ・今後、市が新築を検討するに当たっては、地域コミュニティーの核となる場となるよう、高齢者から子どもまで幅広い年代の住民が利用できるような機能を有し、高齢者が使いやすい施設になるよう要望する。

以上のことから、三郷区地域協議会として審議した結果を市に意見書という形で提案する。

施設内の現状

男女共用のトイレ



◀入口はアコーディオンカーテン、のれんで仕切られている状態（夏には悪臭が発生）



和室照明



◀照度が暗いため、カバーを外して使用している

ロビー照明



集会室照明



階段下照明



集会室の剥がれた壁



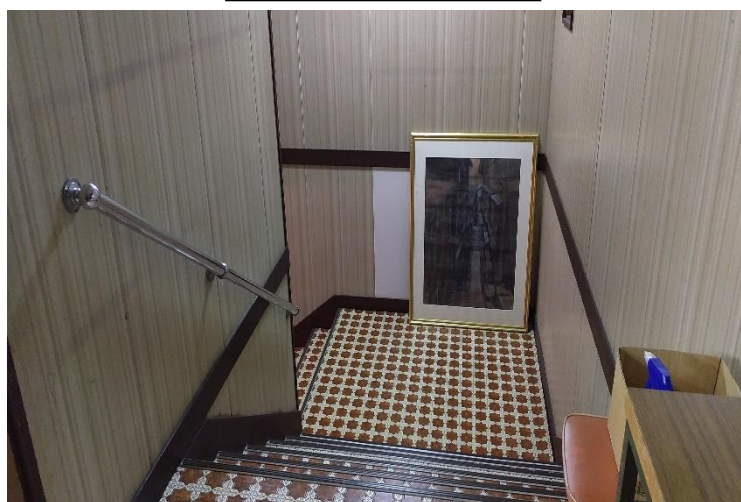
◀ガムテープ等で補修されている▼



和室のささくれた畳と壁



集会室までの手すり



両側に手すりが無い▶

併設された調理室までの廊下



◀廊下に照明が設置されておらず暗い